

土木工学課程「卒業研究」関連の評価表 β1.1版

		2023年度以前の入学生		土木工学総合講義		卒業研究1		卒業研究2		
		2024年度以降の入学生		卒業研究1		卒業研究2		卒業研究3		
学修・教育到達目標		基準1 (JABEE対応)		行動特性		評価項目		指導教員評価		
1	B. 土木技術が社会と自然に対して大きな影響を与えることを理解し、技術者として、持続可能な社会を創造するための役割と責任を理解する	b. 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に対して負っている責任に関する理解 ・当該分野が公共の福祉に与える影響の理解 ・当該分野が、環境保全と持続ある発展にどのように関与するかの理解 ・技術者が持つべき技術者倫理の理解 ・上記の理解に基づいて行動する能力		課題の背景を理解し、研究の意義を説明できる	技術者としての姿勢	25点 評価要素： 中間報告発表 (発表資料)	25点 評価要素： 中間報告発表 (発表資料)	25点 評価要素： 中間報告発表 (発表資料)	15点 評価要素： ゼミ活動 (出席帳)	10点 評価要素： 発表 (発表資料)
2	G. 土木工学における現実の問題について、工学および専門基礎知識を用いて理解・解決する能力を身につける	d. 土木工学の科学技術に関する系統的知識とそれらを用いる能力 ・土木工学において必要とされる科学技術に関する系統的知識 ・上記の知識を組み合わせることも含めた応用能力 ・土木工学において必要とされるハードウェア・ソフトウェアを利用する能力		専門知識を活用し、適切な実験や解析を行い、結論を出せる	問題解決力	10点 評価要素： 中間報告発表 (発表資料)	10点 評価要素： 中間報告発表 (発表資料)	10点 評価要素： 中間報告発表 (発表資料)	10点 評価要素： ゼミ活動 (出席帳)	
3	H. 工学および専門基礎知識を用いて土木分野における社会の要求を解決するための能力を身につける	d. 土木工学の科学技術に関する系統的知識とそれらを用いる能力 ・土木工学において必要とされる科学技術に関する系統的知識 ・上記の知識を組み合わせることも含めた応用能力 ・土木工学において必要とされるハードウェア・ソフトウェアを利用する能力 e. 種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力 ・解決すべき問題を発見する能力 ・公共の福祉、環境保全、経済性などの考慮すべき制約条件を特定する能力 ・解決すべき課題を論理的に特定、整理、調査する能力 ・課題の解決に必要な、数学、自然科学、該当する分野の科学技術に関する系統的知識を適用し、種々の制約条件を考慮して解決に向けた具体的な方針を立案する能力 ・立案した方針に従って、実際に問題を解決する能力		課題を整理し、専門知識を活用し、課題に対する解決策を提示できる	構想力、問題設定力	10点 評価要素： 中間報告発表 (発表資料)	10点 評価要素： 中間報告発表 (発表資料)	10点 評価要素： 中間報告発表 (発表資料)	10点 評価要素： ゼミ活動 (出席帳)	
4	I. 論理的な技術文章の作成能力、プレゼンテーションやディスカッションなどのコミュニケーション能力および英語による基礎的なコミュニケーション能力を身につける	f. 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力 ・情報や意見を他者に伝える能力 ・他者の発信した情報や意見を理解する能力 ・英語等の外国語を用いて、情報や意見をやり取りするための能力		論理的な技術文章を作成できる	文章作成力	17.5点 評価要素： 中間報告発表 (発表資料)	17.5点 評価要素： 中間報告発表 (発表資料)	17.5点 評価要素： 中間報告発表 (発表資料)	7.5点 評価要素： 概要、論文 (概要集、本論)	10点 評価要素： 概要 (概要集)
5	同上	同上		自分の意見を正確に伝えるときに、相手の意見を理解し適切に回答できる	対話力	17.5点 評価要素： 中間報告発表 (発表資料)	17.5点 評価要素： 中間報告発表 (発表資料)	17.5点 評価要素： 中間報告発表 (発表資料)	7.5点 評価要素： ゼミ活動 (出席帳)	10点 評価要素： プレゼンと質疑 (発表資料)
6	J. 常に技術力の向上を目指し、自主的に継続的に学習できる能力を身につける	g. 自主的、継続的に学習する能力 ・将来にわたり技術者として活躍していくための生涯学習の必要性の理解 ・必要な情報や知識を獲得する能力		自主的かつ継続的に学習し、学習結果を評価し、その評価をもとに、次の課題を設定できる	自己学習力	10点 評価要素： ゼミ活動 (出席帳)	10点 評価要素： ゼミ活動 (出席帳)	10点 評価要素： ゼミ活動 (出席帳)	10点 評価要素： ゼミ活動 (出席帳)	
7	K. 経済・社会・環境・時間・技術面などの制約条件のもとで、計画的に仕事を進め、まとめる能力を身につける	h. 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力 ・時間、費用を含む与えられた制約下で計画的に仕事を進める能力 ・計画の進捗を把握し、必要に応じて計画を修正する能力		研究実施において期間内に行うべき計画を立案し、その計画に沿って研究を進めることができる	現場力、計画実行力	10点 評価要素： ゼミ活動 (出席帳)	10点 評価要素： ゼミ活動 (出席帳)	10点 評価要素： ゼミ活動 (出席帳)	10点 評価要素： ゼミ活動 (出席帳)	
						計100点	計100点	計100点	計70点	計30点
						# 表内の項目は、評価配点、評価要素、(根拠資料)を示す				

<行動特性から評価点への換算> 行動特性を数値化(評価点化)する場合、以下の点数換算を基本式とする

行動特性の種類	評価点への換算
S:十分に達成できている	評価配点の90~100%
A:標準的に達成できている	評価配点の80~89%
B:ほぼ標準的に達成できている	評価配点の70~79%
C:最低限達成できている	評価配点の60~69%
D:達成できていない	評価配点の60%未満

成績評価のとりまとめ方

2023年度以前の入学生の「卒業研究2」

2024年度以降の入学生の「卒業研究4」

・指導教員による成績評価、および、全教員による評価を、卒業研究発表終了後、クラス担任が集計する

2023年度以前の入学生の「土木工学総合講義」「卒業研究1」

2024年度以降の入学生の「卒業研究1」「卒業研究2」「卒業研究3」

・指導教員による成績評価を、クラス担任が集計する

・複数研究室での合同報告会を実施した場合でも、指導教員は指導教員の所属する学生のみを成績評価する